

地域社会インフラ整備の担い手育成リスキルプログラムについて

令和6年6月26日

新潟大学 社会連携推進機構 須藤 達美

1

目次

1. 背景
2. リカレント教育推進事業（文科省）について
3. 担い手育成リスキルプログラムの概要
4. リスキルプログラムの推進体制
5. リスキルプログラムの詳細
6. 令和5年度の実施状況
7. 今後の展開
8. 参考

2

- 建設業は、概ね1997年以降、約20年に及び建設投資が減少。結果として斜陽産業と捉えられ、若い世代の新規入職者が減少し就業者の高齢化が進行した。
- 温暖化の影響に伴う災害の増加や公共施設の老朽化等により潜在的な業務量は増加傾向にあり、地域のインフラを支えることが困難となりつつある。特に新潟県では、海岸・河川・道路の延長が国内屈指であり影響は顕著
- 地域建設業の衰退は、インフラの機能低下や災害復旧の長期化を招き、社会生活の質の低下により人口流出を加速
- 建設投資の首都圏集中や給与格差等、大手企業の採用増等により、学生の首都圏流出が増加し首都圏との格差が拡大
- 少子化に加えに大学進学率の増加に伴い、地域建設業への人材供給を担ってきた工業高校・専門学校等からの入職者が減少
- 終身雇用の崩壊により、若者の間で入社後にスキルアップできる機会の有無が企業選択の要因の一つ

➤ 人材確保に加え、今いる人材の育成/他産業からの流入を！

- 55歳以上の上昇傾向は全産業と大差ない（左図②）が、65歳以上が急増（左図③）。既に新卒者の親世代において建設業はマイナー産業。若手は相対的に若干増加傾向（左図①）
- 建設就業者の年齢格差を地域別にみると（右図）、東北地方は高齢化（赤点線）と若手入職者の減少（赤実線）が同時進行。技術者の適正配置や技術伝承が困難

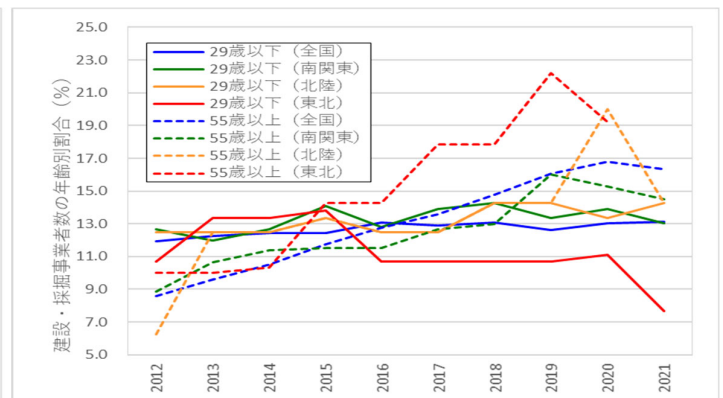
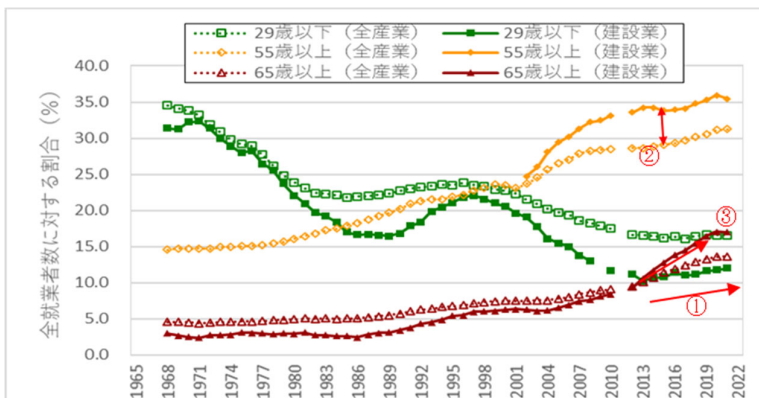


図 建設就業者の推移と年齢別全産業との比較

図 建設就業者の地方別・年齢別推移

2. リカレント教育推進事業（文科省）について

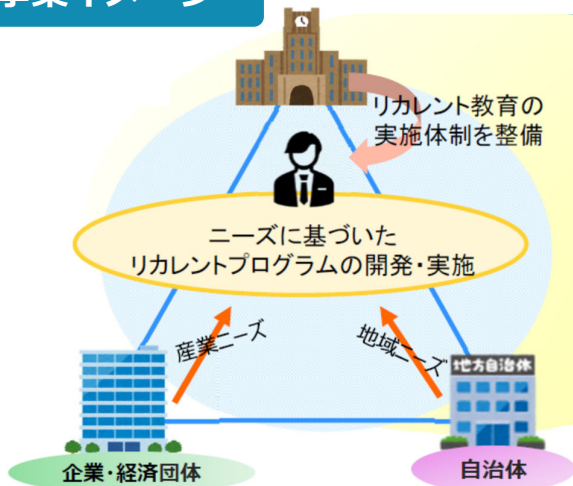
目的

- 大学等に対し、基礎・応用・エキスパートなど多様なレベルや分野に応じて、産業界や社会のニーズを満たすプログラムの開発・実施に向けた支援を行い、社会人のキャリアアップや成長分野への労働移動を後押し

実施内容

- 主に就業者・失業者・非正規雇用労働者が対象。各業界と連携し就職・転職に必要な基礎的又は応用的な重要分野の能力を取得しキャリアアップにつなげる。
*重要分野のプログラムの開発・実施

事業イメージ



リスキルプログラムの着手に先立ち、令和3年度及び4年度高等教育機関における共同講座支援事業費補助金（経産省）に採択され、地元企業と共にベースを構築

出典：令和4年度「成長分野における即戦力排出に向けたリカレント教育推進事業」
～公募のポイント～より一部抜粋

5

3. 担い手育成リスキルプログラムの概要

プログラムの目的及び概要

- 本事業では、土木工学分野に関するボトムアップを目的とした基礎技術力向上の他、一部にCPDS（継続学習制度）、CPDの取得も可能な最新技術・応用技術に関する講座や実習、資格取得支援や現地見学等の各種講座を通じた即戦力の育成
- 基礎技術力の向上については、大学の常勤教員による建設基礎科目群「建設基礎技術講座」（コンクリート工学・応用工学・地盤工学）をオンデマンドで提供
- 応用能力の習得には、主に付属研究機関や外部講師による「建設応用技術講座」とし、社会人が参加しやすいようオンライン講座も多数用意。具体的には、共通・応用・総合講座や資格対策講座、コンクリート劣化診断実習、建設DX、雪氷学等を実施

想定している対象者

主に地域建設業及びその関連業、または自治体で建設を担当している技術者で、大学で土木工学を未履修の若手技術者(転職者含む)。あるいは今後建設業に転職を希望する方

期間・費用等

期間：R6.7.11～R8.3.31

費用：5万円/人 *選択必修の各種講座は必要なものだけの参加も可能

6

3. 担い手育成リスクプログラムの概要

プログラムのHP



必要があれば関係機関や企業各社に伺い直接ご説明します。

初年度の受講者は、個別講座参加者を除き15名

新潟大学 社会連携推進機構

- DETAIL

募集要項

■参加対象者
カリキュラムの受講にあたり、特に条件を設けていませんが、大学の専門課程に準じた内容のため、高卒以上の学力を前提としています。対象としては、建設及び関連業界の社員、土木系の部署に配属されている自治体職員、またはそれ以外で現在土木分野に携わっている経験の浅い社会人を想定しています。その他、建設業に興味のある方はどなたでもご参加いただけます。

■時期
令和6年7月11日（木）～令和8年3月31日

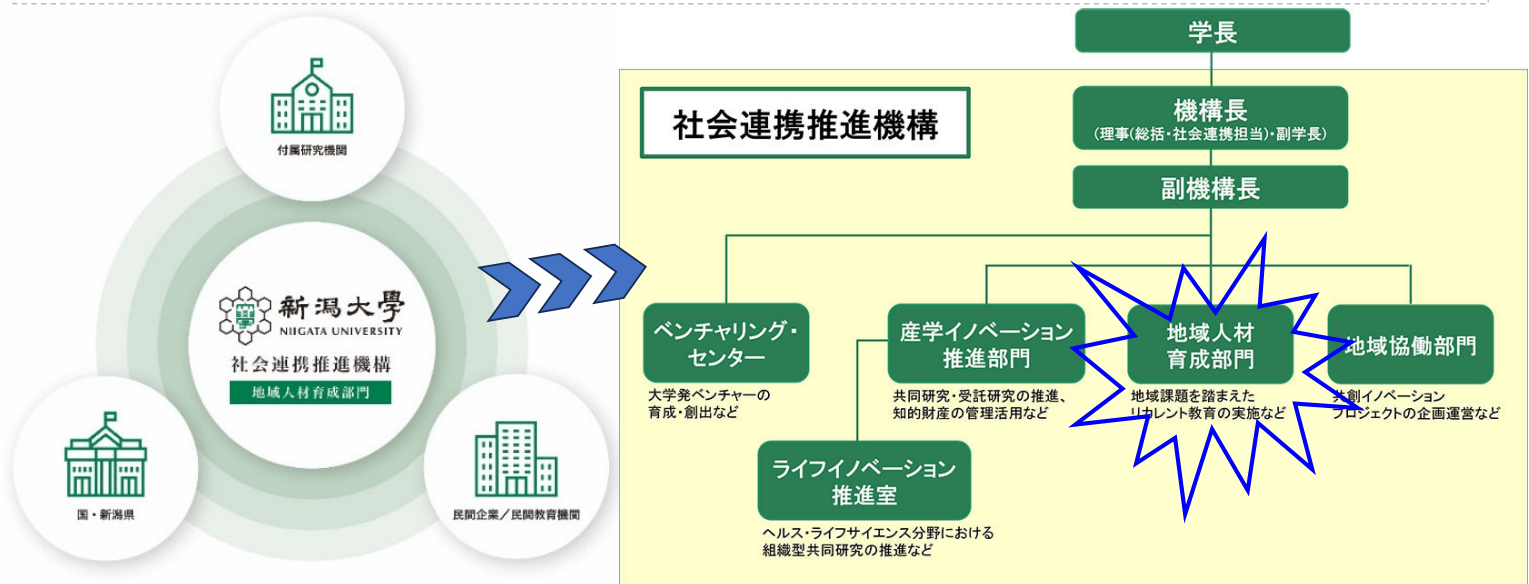
■費用
5万円/人 選択を含む全カリキュラム受講可

出典：<https://www.reskill.ircp.niigata-u.ac.jp/>

4. リスキルプログラムの推進体制

推進体制（大学の役割）

- 地域からの要請が強い**地域人材育成機能**を有する組織として、R5.4.1付で学長直轄組織である**社会連携推進機構**を設置
- **地域協働**、**地域人材育成及び産学イノベーションの活動**を一貫して推進し、**地域の課題解決及び産業の発展**に寄与。

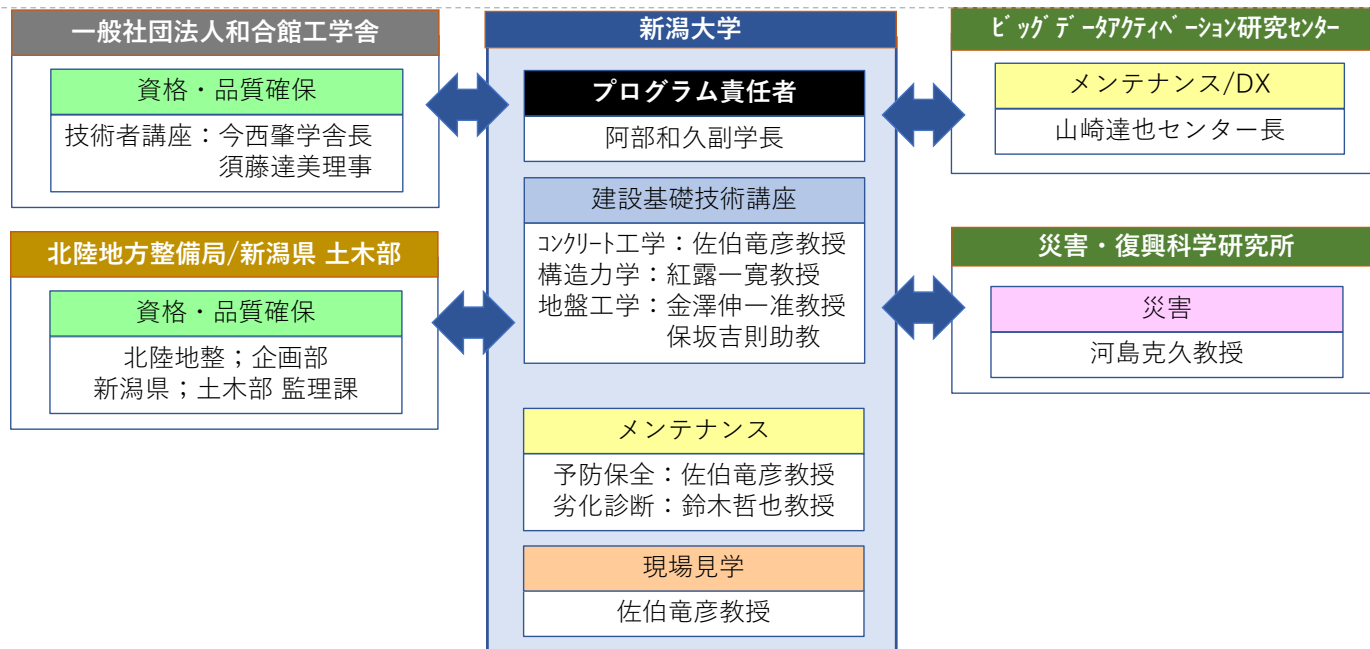


リスキルプログラム運営体制（左）と新潟大学社会連携機構の組織図（右）

4. リスキルプログラムの推進体制

推進体制（詳細）

- 新潟大学が中心となり、学内付属研究機関、北陸地方整備局（国）及び新潟県土木部の他、地域建設業を中心とする建設技術者教育機関である一社）和合館工学舎等との連携を通じて本プログラムを実施



9

5. リスキルプログラムの詳細

必修：建設基礎技術講座（オンデマンド）

表 プログラム（修了要件：48/48時間の視聴とテスト合格）

科目群	形式	時間数	概要	教員	所属
コンクリート工学	オンデマンド	16 8×2科目	構造設計・施工で必要となる力学的な基礎知識の習得	佐伯竜彦	新大（工）
応用力学		16 8×2科目	地盤防災・基礎設計・施工で必要となる基礎知識の習得	紅露一寛	
地盤工学		16 8×2科目	コンクリート及び鉄筋コンクリートに関する基礎知識の習得	金澤伸一 保坂吉則	

5. リスキルプログラムの詳細

必修：建設基礎技術講座

表 科目一覧

科目区分	授業科目		
コンクリート工学	セメント		
	骨材		
	混和材料		
	フレッシュコンクリート、施工		
	硬化コンクリートの力学特性		
	耐久性		
	配合設計		
	ひび割れ		
	鉄筋コンクリート工学	鉄筋コンクリートの基礎	
		弾性理論による鉄筋コンクリートの応答解析（曲げ）、許容応力度設計法	
		弾性理論による鉄筋コンクリートの応答解析（せん断）、許容応力度設計法	
		設計値	
		終局限界状態の照査	
		使用限界状態、疲労限界状態の照査	
		耐震設計、構造細目	
		プレストレストコンクリート	
		応用力学	理論
			力とモーメントのつりあい
	応力の定義と物理的解釈、物体内部の力のつりあい		
変位と変形、ひずみの定義と物理的解釈			
材料の力学的性質と構成則			
構造モデルと構造形式			
はりの変形（曲げとせん断）			
構造解析の現代的な方法			
座屈現象について			
演習			
演習1（上記理論に対応）			
演習2（ " ）			
演習3（ " ）			
演習4（ " ）			
演習5（トラスの部材力）			
演習6（はりの断面力）			
演習7（はりの応力）			
演習8（はりのたわみ）			

科目区分	授業科目
地盤工学	理論
	土の基本的な物理諸量とその利用について
	ダルシーの法則ならびに地盤内の透水現象とその利用について
	地盤の圧密現象と圧密に伴う沈下量、沈下時間について
	地盤の強度特性と破壊基準について、ならびにその他の地盤内の応力状態について
	土質試験、地盤調査によるせん断強度の評価方法について
	構造物地下の壁面に作用する土圧について
	構造物基礎の安定に対する地盤の支持力について
	斜面や盛土法面の崩壊に対する評価方法について
	演習
	土の物理量に関する諸量の復習
	地盤内の透水現象に関する復習
圧密に伴う沈下量、沈下時間の復習	
地盤の強度特性と破壊基準に関する復習	
せん断強度評価の要点と演習	
土圧の要点の振返りと演習	
支持力計算の要点と演習	
斜面安定の要点と演習	

量的・質的に学生向け講義と同レベルを確保。シラバスはHPにてご確認下さい。択一式テストあり。

5. リスキルプログラムの詳細

選択必修：建設応用技術講座（オンライン、対面）

表 プログラム詳細（選択必修，建設応用技術講座，修了要件：72/120時間）

科目群	形式	時間数	概要	教員	所属
共通・応用・総合技術講座	オンライン	23 6×3科目 5×1科目	技術者としての基礎、応用技術、総合技術監理の習得	今西 肇 須藤達美	和合館工学舎
資格取得支援講座		42 12×3科目 6×1科目	土木及び建築施工管理技士、技術士、建築士の取得に向けた支援講座	須藤達美 八木敏之	
建設技術集中講座	対面	21 7×3科目	上記の共通・応用・総合技術講座を短期集中で受講可能な対面講座	今西 肇 須藤達美	
コンクリート劣化診断実習		21	コンクリートの物性評価及び非破壊実習と現地見学からなる実習	佐伯竜彦 鈴木哲也	新大（工）／（農）
地域インフラ整備概論		2	新潟県下におけるインフラ整備の方向性の理解と受発注者間の課題の共有	未定	国／新潟県
地域特性・先端技術講座		4 2×2科目	降雪地帯特有の雪害や雪氷学に関する基礎知識、生産性向上や省力化に不可欠なDX等の先端技術を習得する	山崎達也 河島克久	ビックデータアクティブ・イノベーション研究センター／災害・復興科学研究所
現場見学		7	県内の主要な建設工事の見学を通じた施工技術の理解	佐伯竜彦 須藤達美	新大（工）／社会連携推進機構

5. リスキルプログラムの詳細

選択必修：建設応用技術講座（オンライン）

表 科目一覧

科目区分		授業科目																																						
共通・応用・総合技術講座	共通技術	効果的な文章の書き方のはなし	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目区分</th> <th>授業科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">資格取得支援講座</td> <td>技術士二次試験対策（技術士試験の概要）</td> </tr> <tr> <td>技術士二次試験対策（社会資本整備）</td> </tr> <tr> <td>技術士二次試験対策（維持管理・更新）</td> </tr> <tr> <td>技術士二次試験対策（防災・減災）</td> </tr> <tr> <td>技術士二次試験対策（担い手確保・生産性向上）</td> </tr> <tr> <td>技術士二次試験対策（地域活性化）</td> </tr> <tr> <td>技術士二次試験対策（品質確保）</td> </tr> <tr> <td>技術士二次試験対策（環境保全）</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">1級土木施工管理技士1次検定対策</td> <td>一級土木施工管理技士1次検定（一般土木①）</td> </tr> <tr> <td>一級土木施工管理技士1次検定（一般土木②）</td> </tr> <tr> <td>一級土木施工管理技士1次検定（専門土木）</td> </tr> <tr> <td>一級土木施工管理技士1次検定（法規）</td> </tr> <tr> <td>一級土木施工管理技士1次検定（共通工学、施工計画）</td> </tr> <tr> <td>一級土木施工管理技士1次検定（工程管理、環境対策）</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">1級建築施工管理技士1次検定対策</td> <td>一級建築施工管理技士1次検定（安全管理①）</td> </tr> <tr> <td>一級建築施工管理技士1次検定（安全管理②、品質管理）</td> </tr> <tr> <td>一級建築施工管理技士1次検定（建築学①）</td> </tr> <tr> <td>一級建築施工管理技士1次検定（建築学②）</td> </tr> <tr> <td>一級建築施工管理技士1次検定（設備・外構・契約他）</td> </tr> <tr> <td>一級建築施工管理技士1次検定（躯体施工）</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">総合技術</td> <td>経済性管理</td> </tr> <tr> <td>人的資源管理</td> </tr> <tr> <td>情報管理・安全管理</td> </tr> <tr> <td>社会環境管理</td> </tr> <tr> <td>ハザードとリスク</td> </tr> <tr> <td>2級建築学科試験①</td> </tr> <tr> <td>2級建築学科試験②</td> </tr> <tr> <td>2級建築学科試験③</td> </tr> <tr> <td>2級建築学科試験④</td> </tr> <tr> <td>2級建築学科試験⑤</td> </tr> <tr> <td>2級建築学科試験⑥</td> </tr> </tbody> </table>	科目区分	授業科目	資格取得支援講座	技術士二次試験対策（技術士試験の概要）	技術士二次試験対策（社会資本整備）	技術士二次試験対策（維持管理・更新）	技術士二次試験対策（防災・減災）	技術士二次試験対策（担い手確保・生産性向上）	技術士二次試験対策（地域活性化）	技術士二次試験対策（品質確保）	技術士二次試験対策（環境保全）	1級土木施工管理技士1次検定対策	一級土木施工管理技士1次検定（一般土木①）	一級土木施工管理技士1次検定（一般土木②）	一級土木施工管理技士1次検定（専門土木）	一級土木施工管理技士1次検定（法規）	一級土木施工管理技士1次検定（共通工学、施工計画）	一級土木施工管理技士1次検定（工程管理、環境対策）	1級建築施工管理技士1次検定対策	一級建築施工管理技士1次検定（安全管理①）	一級建築施工管理技士1次検定（安全管理②、品質管理）	一級建築施工管理技士1次検定（建築学①）	一級建築施工管理技士1次検定（建築学②）	一級建築施工管理技士1次検定（設備・外構・契約他）	一級建築施工管理技士1次検定（躯体施工）	総合技術	経済性管理	人的資源管理	情報管理・安全管理	社会環境管理	ハザードとリスク	2級建築学科試験①	2級建築学科試験②	2級建築学科試験③	2級建築学科試験④	2級建築学科試験⑤	2級建築学科試験⑥
		科目区分		授業科目																																				
		資格取得支援講座		技術士二次試験対策（技術士試験の概要）																																				
				技術士二次試験対策（社会資本整備）																																				
				技術士二次試験対策（維持管理・更新）																																				
				技術士二次試験対策（防災・減災）																																				
	技術士二次試験対策（担い手確保・生産性向上）																																							
	技術士二次試験対策（地域活性化）																																							
	技術士二次試験対策（品質確保）																																							
	技術士二次試験対策（環境保全）																																							
	1級土木施工管理技士1次検定対策			一級土木施工管理技士1次検定（一般土木①）																																				
				一級土木施工管理技士1次検定（一般土木②）																																				
				一級土木施工管理技士1次検定（専門土木）																																				
				一級土木施工管理技士1次検定（法規）																																				
				一級土木施工管理技士1次検定（共通工学、施工計画）																																				
		一級土木施工管理技士1次検定（工程管理、環境対策）																																						
	1級建築施工管理技士1次検定対策	一級建築施工管理技士1次検定（安全管理①）																																						
		一級建築施工管理技士1次検定（安全管理②、品質管理）																																						
		一級建築施工管理技士1次検定（建築学①）																																						
		一級建築施工管理技士1次検定（建築学②）																																						
一級建築施工管理技士1次検定（設備・外構・契約他）																																								
一級建築施工管理技士1次検定（躯体施工）																																								
総合技術	経済性管理																																							
	人的資源管理																																							
	情報管理・安全管理																																							
	社会環境管理																																							
	ハザードとリスク																																							
	2級建築学科試験①																																							
	2級建築学科試験②																																							
	2級建築学科試験③																																							
2級建築学科試験④																																								
2級建築学科試験⑤																																								
2級建築学科試験⑥																																								
応用技術①	論文の書き方のはなし																																							
	データ分析のはなし																																							
	効果的なプレゼンテーションのはなし																																							
	建設マネジメントのはなし																																							
	仮設構造物施工																																							
	土と地下水のはなし																																							
	地盤調査のはなし																																							
	斜面安定の設計のはなし																																							
	斜面安定の計測施工管理のはなし																																							
	土留め掘削の設計のはなし																																							
	土留め掘削の計測施工管理のはなし																																							
	応用技術②	河川工学基礎																																						
		治水のはなし																																						
		利水・環境のはなし																																						
水理学概論①																																								
水理学概論②																																								
水文学概論																																								

資格取得の講座を新たに追加しました。

5. リスキルプログラムの詳細

選択必修：建設応用技術講座（対面）

表 科目一覧

科目区分	授業科目
建設技術集中講座	共通
	共通教育（1）
	共通教育（2）
	建設マネジメント（1）
	建設マネジメント（2）
	応用
	地盤技術（1）
	地盤技術（2）
	地盤技術（3）
	地盤技術（4）
総合・応用	
技術監理（1）	
技術監理（2）	
河川技術（1）	
河川技術（2）	
コンクリート劣化診断実習	メンテナンスの現状と課題 コンクリートの非破壊検査・物性評価実習 現場見学
地域インフラ整備論	国及び県における整備方針の説明と意見交換
地域特性・先端技術講座	雪氷学 建設DX
現場見学	県内の主要な河川や道路等の現場見学及び意見交換

建設技術集中講座はCPDS20単位が3日間です。

発注者と意見交換ができる講座や雪による災害や建設DX等の講座も用意

5. リスキルプログラムの詳細

選択必修：建設応用技術講座（スケジュールと個別受講時の金額）

表 選択必修科目の開催予定と受講料

科目群	実施時期	形式	個別受講時の費用	備考
共通・応用・総合技術講座	R6.8.7～R7.1/22までの原則毎週水曜日の17:30～18:30	オン ライ ン	22,000円 共通・応用①②・総合毎の受講が可能	
資格取得支援講座	R6.9.7～R7.1.14 技術士：9.12～10.31の原則木曜の17:30～19:00 土木施工：11.7～12.26の原則木曜の17:30～19:00 建築施工：10.1～11.19の原則火曜の17:30～19:00 建築士：R6.12.3～R7.1.14の原則火曜の17:30～18:30		技術士・土木施工・建築施工は各13,200円 建築士は6,600円	
建設技術集中講座	R6.8.21～23の3日間（新潟市内開催） R6.10～12月の連続する3日間（上越市内開催）	対面	15,000円 1日単位（5,000円）での参加も可能	3日間でCPDS20単位取得可
コンクリート劣化診断実習	R6.8.26～28の3日間		15,000円 1日単位の参加不可	開催地：新潟大学内
地域インフラ整備論	R6.9月頃（未確定）		2,000円	
地域特性・先端技術	雪氷学：8/9の15:00～17:00		2,000円	
	建設DX：10/25の15:00～17:00		2,000円	
現場見学	R6.10/4	5,000円	県内、複数	

今後若干変更となる場合があります。

5. リスキルプログラムの詳細

選択必修：建設応用技術講座の選択例

例1：■オンライン
共通・応用・総合技術講座の受講：23時間
資格取得支援講座（技術士，1級土木施工管理）の受講：24時間
■対面
コンクリート劣化診断実習：21時間
現場見学：7時間
合計：75時間

例2：■オンライン
資格取得支援講座（2級建築士，1級建築施工管理）の受講：18時間
■対面
建設技術集中講座：21時間
コンクリート劣化診断実習：21時間
地域インフラ整備論：2時間
地域特性・先端技術講座：4時間
現場見学：7時間
合計：72時間

R6年度及びR7年度の2回実施。2年間で確保して下さい。

5. リスキルプログラムの詳細

参考：社会インフラ共創講座による講座の紹介

表 社会インフラ共創講座において予定している講座

科目区分	授業科目	時間数	担当教員	対象者
社会人育成 離職防止	全産業を対象としたビジネスリーダー育成講座	9時間	北陸建設 アカデミ ー講師他	社会人 (一般)
	全産業を対象とした若手社員のリフレッシュ講座	9時間		
人材確保	地域建設業人材確保・育成のための講座	10時間	北陸建設 アカデミ ー講師他	社会人 (技術者・ 技能者)
技能実習	キャリアアップセミナー	30時間		
	自然災害対策講座	112時間		
	建設ICT講習(ドローン入門)	24時間		
	建設技能ステップアップ講習	16時間		
人材確保	高校生を対象とした建設業出前講座(学校キャラバン)	7時間		学生

過去2年間採択されている経産省の補助事業が継続採択された場合に実施します。

6. 令和5年度の実施状況

プログラム(必修: オンデマンド)

セメントの種類

- ポルトランドセメント**
 - 普通、早強、超早強
 - 中庸熱、低熱、耐硫酸塩
- 混合セメント**
 - 高炉セメント (A, B, C種)
 - シリカセメント (A, B, C種)
 - フライアッシュセメント (A, B, C種)
- エコセメント**
 - 普通エコセメント
 - 速硬エコセメント

JISに規定 ↑
- その他のセメント**
 - 白色セメント、膨張セメント、アルミナセメント
 - 超速硬セメント、コロイドセメント etc.

JIS規定外 ↓

力 (force) とは...

- 物体を手で押す、投げる、引くなどすると、手ごたえを感じる。→ 「力」の意味を直感できる。
- 重力(gravity) 地球上で物体が持つ現象を引き起こすことされる力
- 「力」の実態は???
- 把握することは容易でない。
- 力学では...
- 「力(force)」とは：物体に働いてその運動状態の変化を生じさせるような原因のこと

$$W = mg$$

m: 質量, g: 重力加速度 (9.8m/s²)

地盤を知る

- 地盤を知ることが大事
- ✓ 建物下の地盤は**堆積土**
- 1) 堆積土は、堆積した年代から**沖積層**と**洪積層**に分類
- 2) 地形によって、地盤の性質がわかる
- キーポイント
- 1) 堆積土とは?
- 2) 沖積層と洪積層
- 3) 地形とその特徴
- 4) 地形と災害

本日の講義内容

- ・ 室内土質試験による地盤の強度評価方法
 - ・ 一面せん断試験
 - ・ 一軸圧縮試験
 - ・ 三軸圧縮試験
- ・ 排水条件と強度評価
 - ・ CD試験, CU試験, UU試験のモール円, c, φと応力経路
 - ・ ダイレイタンスーと過剰間隙水圧の関係
- ・ 原位置の地盤調査による強度評価の方法
 - ・ 標準貫入試験とN値
 - ・ スウェーデン式サウンディング試験
- ・ 粘性土と砂質土で異なる強度定数やN値の傾向
- ・ 構造物の設計や安定計算に向けて

6. 令和5年度の実施状況

プログラム（選択必修：オンライン，対面）

建設技術者講座② 県内建設業の 目指すべき姿

2023
10/18 [水]
14:00~17:00

新潟県内のインフラ整備の現状と方針を
国と自治体の視点から掘り下げ、
県内建設業の今後のあり方について
意見を交換する。

受講料 3,000円 | 定員 先着30名

会場 新潟大学 駅南キャンパスときめいと
〒950-0911 新潟県新潟市中央区区1丁目1 プラザ1F

講師
信太 啓貴 北陸地方整備局 企画部長
鈴木 完 新潟県土木部 監理課 企画課長

申込締切 10月13日(金)
参加ご希望の方はQRコードまたは下記URLよりお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/XKG70ITix>
受講料の支払は申込締切の日までにお支払いください。

お問い合わせ 国立大学法人 新潟大学 社会連携推進機構 chiki-r@cccr.niigata-u.ac.jp 主催/国立大学法人 新潟大学

技術者基礎・ 応用技術講座

本講座は、地域社会インフラ整備担い手育成
スキルプログラムにおける選択コース「技術者
基礎・応用技術」として実施されるものです。主
に技術者としての基礎的な素養と地盤及び利
用分野に関する現場に近い応用技術の習得を
目的としています。

開催期間
令和5年
2023.10.25 [水]
令和5年
▶ 2024.1.31 [水]
開催時間 17:30~18:30

場所
オンライン (Zoomミーティング)

受講料
20,000円(税込)

№	日付	講義名	講師
1	2023年 10月 26日(木)	土と地下水の地盤なし	今西 肇
2	20日(木)	総合技術能力向上(経済性管理)	武蔵 浩夫
3	11月 2日(木)	総合技術能力向上(人的資源管理)	武蔵 浩夫
4	8日(木)	総合技術能力向上(品質管理)	今西 肇
5	9日(木)	総合技術能力向上(環境管理・安全衛生)	武蔵 浩夫
6	14日(木)	総合技術能力向上(社会連携管理)	武蔵 浩夫
7	15日(木)	総合技術能力向上(土木工学概論)	今西 肇
8	21日(木)	河川(河川)の河川(河川)の河川(河川)	武蔵 浩夫
9	22日(木)	地盤(地盤)の地盤(地盤)	今西 肇
10	28日(木)	土質(土質)の土質(土質)	今西 肇
11	30日(木)	河川(河川)の河川(河川)の河川(河川)	武蔵 浩夫
12	12月 13日(木)	土質(土質)の河川(河川)の河川(河川)	今西 肇
13	14日(木)	河川(河川)の河川(河川)の河川(河川)	武蔵 浩夫
14	18日(金)	地盤(地盤)の地盤(地盤)	今西 肇
15	22日(金)	河川(河川)の河川(河川)の河川(河川)	武蔵 浩夫
16	2024年 1月 10日(木)	地盤(地盤)の地盤(地盤)の地盤(地盤)	今西 肇
17	11日(木)	地盤(地盤)の地盤(地盤)の地盤(地盤)	今西 肇
18	17日(木)	河川(河川)の河川(河川)の河川(河川)	今西 肇
19	24日(木)	河川(河川)の河川(河川)の河川(河川)	今西 肇
20	31日(木)	河川(河川)の河川(河川)の河川(河川)	今西 肇

参加締切 10月18日(水)
参加ご希望の方はQRコードまたは下記URLよりお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/XKG70ITix>
受講料の支払は申込締切の日までにお支払いください。

お問い合わせ 国立大学法人 新潟大学 社会連携推進機構 chiki-r@cccr.niigata-u.ac.jp 主催/国立大学法人 新潟大学

6. 令和5年度の実施状況

プログラム（選択必修：オンライン，対面）

コンクリート 劣化診断実習

学内のインフラ品質診断施設を用いた
コンクリートの劣化診断技術の習得

令和5年
2023.10.30 [月]・11.2 [木] [隔週見学]
4日間コース | 9:00~17:00

会場 新潟大学 五十嵐キャンパス
〒950-2181 新潟県新潟市中央区五十嵐2-1-1

講師 佐伯 竜彦 新潟大学 工学部 教授
鈴木 哲也 新潟大学 工学部 教授

参加締切 10月20日(金)
参加ご希望の方はQRコードまたは下記URLよりお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/XKG70ITix>
受講料の支払は申込締切の日までにお支払いください。

お問い合わせ 国立大学法人 新潟大学 社会連携推進機構 chiki-r@cccr.niigata-u.ac.jp 主催/国立大学法人 新潟大学

雪氷学の基礎と 大雪による車両の立ち往生

雪降時に必要な雪氷学の基礎を学ぶとともに、
近年大きな社会問題となっている大雪による車両の立ち往生の対策について講義します。

令和5年
2023.10.27 [金]
15:00~17:00(開場 14:30)

会場 新潟大学 駅南キャンパスときめいと
〒950-0911 新潟県新潟市中央区区1丁目1 プラザ1F

講師 河島 克久 新潟大学 工学部 工学系 教授

参加締切 10月24日(火)
参加ご希望の方はQRコードまたは下記URLよりお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/XKG70ITix>
受講料の支払は申込締切の日までにお支払いください。

お問い合わせ 国立大学法人 新潟大学 社会連携推進機構 chiki-r@cccr.niigata-u.ac.jp 主催/国立大学法人 新潟大学

DXの現状と建設業への 展開について

適用が進まない建設分野におけるDXについて、
DXの現状を踏まえた上で、事例をもとに
今後の建設DXの方向性について議論します。

令和5年
2023.10.20 [金]
15:00~17:00(開場 14:30)

会場 新潟大学 駅南キャンパスときめいと
〒950-0911 新潟県新潟市中央区区1丁目1 プラザ1F

講師 山崎 達也 新潟大学 工学部 工学系 教授

参加締切 10月17日(火)
参加ご希望の方はQRコードまたは下記URLよりお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/XKG70ITix>
受講料の支払は申込締切の日までにお支払いください。

お問い合わせ 国立大学法人 新潟大学 社会連携推進機構 chiki-r@cccr.niigata-u.ac.jp 主催/国立大学法人 新潟大学

6. 令和5年度の実施状況

試行プログラム（技能者向け）

2023 自然災害に立ち向かう
第2回 資格取得と実習
無料 自然災害復旧対策講座

日程 11月22日(水)～12月21日(木) ※1日のみから受講可
対象 一般の方、建設関係者等 ※18歳以上
性別不問！就業中の方やこれから建設業を志そうとしている方など、どなたでも大歓迎!!
会場 一般社団法人北陸建設アカデミー
定員 6名(抽選) ※先着順ではありません。
(受講可否は締切後に通知)
締切 11月1日(水)

講師 建設と自然災害
復興
土木地方防災エキスパート
浮須 修栄 氏

講座内容(詳細は要項) お好きな組み合わせでお申込みください。

- ① ①の受講は必須です。
建設業と自然災害(座学・実習)/現場見学
- ② 東河系建設機械(整地専用)運転技能講習
- ③ 東河系建設機械(解体用)運転技能講習
- ④ 玉掛け技能講習
- ⑤ 小型移動式クレーン運転技能講習
- ⑥ フルハーネス設置規制止用器具特別教育
- ⑦ チェーンソー取扱い特別教育
- ⑧ 重機総合実習 ※②③の受講が必要。
- ⑨ 足場の組立て等特別教育

①～⑥全て受講した場合、資格取得費用
240,570円相当が無料!!

主催：国立大学法人新潟大学工学部
お問い合わせ先 一般社団法人北陸建設アカデミー 新潟県魚沼市黒川91
TEL 0254-20-8106 / FAX 0254-20-8107
お申し込み方法 要項を必ずお読みください。必要書類とあわせて
郵送又はFAX、メールにてお申し込みください。
※本講座は、文部科学省「成長分野における高度人材育成に向けたリカレント教育実施事業」の一環として実施するものです。

自然災害復旧にICTを活用
ドローン入門講習

参加無料 国土交通省登録カリキュラムと同等の履修が可能!!

管理者・操縦者が必要な判断力を養います!!

講習内容	主催	協力
・各種安全管理 ・関係法令 ・ケーススタディ ・ドローンの機体構造 ・電波工学 ・気象関係 etc.	国立大学法人新潟大学工学部	金井度量衡株式会社
・フライトシミュレータートレーニング (パソコンのソフトを利用した操縦練習) ・ミニコンピュータトレーニング (市販されているミニコンピュータを使用した操縦練習)	日程 令和5年10月6日(金) 9:00～16:00 場所 一般社団法人北陸建設アカデミー 新潟県魚沼市黒川91 定員 10名(先着順) 締切 9月28日(木)	

講師 浮須 修栄 氏
会場 一般社団法人北陸建設アカデミー
〒959-2207 新潟県魚沼市黒川91
TEL 0254-20-8106 FAX 0254-20-8107

将来的には対象者を拡大予定です

自然災害復旧にICTを活用
ドローン実践講習
DJI CAMPSベクターリスト認定講習!!

主催 国立大学法人新潟大学工学部 協力 金井度量衡株式会社 定員 10名(先着順) 締切 10月3日(火)

対象 ドローン飛行操作の経験が10時間以上ある方 参加費 無料

日時	会場	内容
[1日目] 受付8:30～ 10月11日(水) 9:00～16:00	一般社団法人北陸建設アカデミー 新潟県魚沼市黒川91	【座学】 ・操縦者の行動規範、安全、法規、無人航空機について、電波、カメラ、環境、安全飛行、点検
[2日目] 受付8:30～ 10月12日(木) 9:00～16:00	AM 一般社団法人北陸建設アカデミー 新潟県魚沼市黒川91 PM 胎内レクホール 新潟県胎内市黒井1185-2	AM 【座学】 ・DJI製品について ・筆記試験 PM 【飛行技能練習】 ・飛行前チェック、ホバリング、移動、8の字、ノーズインワーク
[3日目] 受付9:00～ 10月13日(金) 9:30～16:30	胎内レクホール 新潟県胎内市黒井1185-2	【飛行技能試験】 ・飛行前チェック、ホバリング、移動、8の字、ノーズインワーク

<特記事項>
・全課程を受講し、筆記試験、飛行技能試験を合格された方には、DJI CAMPSベクターリスト認定証が発行されます。

お問い合わせ先 一般社団法人北陸建設アカデミー
〒959-2207 新潟県魚沼市黒川91
TEL 0254-20-8106 FAX 0254-20-8107

6. 令和5年度の実施状況

現場見学（2年次）2023/10/2

今年度は社会人向け見学会も開催します。



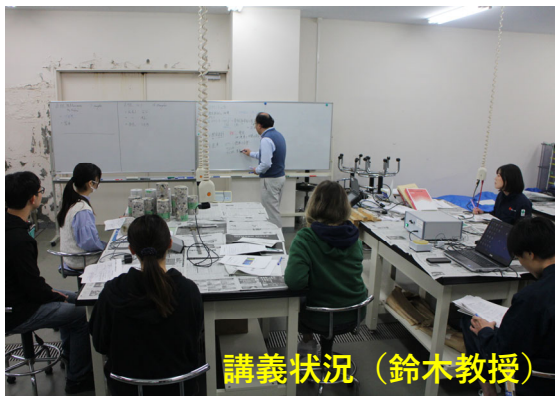
6. 令和5年度の実施状況

県内建設業の目指すべき姿 2023/10/18



6. 令和5年度の実施状況

コンクリート劣化診断実習 2023/10/30~11/2



- 次年度は**履修証明プログラム**とするとともに、2か年の経験と実績を踏まえ、恒久プログラムとして**本格運用**を目指す。受講料も大学規定に合わせて13.2万円とする。
- 文部科学省の**職業実践力育成プログラム**の認定を受け、企業が人材開発助成金を受給（40～70%）できるようにする。
- 厚労省の**教育訓練給付制度（専門実践教育訓練，給付率最大70%）**の指定を得ることで、個人が給付金をもらえるようにする。
- 修了後も受講者のモニタリングを行い、**効果の検証やプログラムへのフィードバック**を行う。
- 他大学との連携や本プログラムをきっかけとした共同研究、大学院・博士課程の受け入れ等、**より高度な教育の場の提供**を検討する。

大学を拠点とし多様な教育プログラムの提供を通じた
県内建設産業の維持・拡大を支援

➤ 履修証明プログラム

平成19年の学校教育法の改正により「履修証明制度」が創設され、大学等がより積極的な社会貢献を目的として、社会人等を対象とした一定のまとまりのある学習プログラムを「履修証明プログラム」として開設できるようにした。修了者には同法に基づく履修証明書を交付。

➤ 職業実践力育成プログラム（BP）

大学等における履修証明プログラムの内、文部科学省が認定する主に社会人を対象とした実践的・専門的な課程。企業として人材開発支援助成金の受給が可能。経費（45～70%）、賃金（760円/時）の助成が受けられる。*数字は大企業以外

➤ 職業訓練給付制度（専門実践教育訓練）

労働者の主体的なスキルアップを支援するため、厚労大臣の指定を受けた教育訓練を受講・修了した方に対し、費用の一部を支給する制度。専門実践教育訓練は、3つに区分けされる訓練の内、給付率が最も高い（最大70%）のものであるが、その認定条件のハードルも高い。通常の履修証明プログラムは、通常、一般教育訓練（給付率20%）であるが、職業実践育成プログラムは専門実践教育訓練に該当。

キャリアアップ・キャリアチェンジを目指す労働者の皆さまへ 教育訓練給付制度のご案内

教育訓練給付とは？

労働者の主体的なスキルアップを支援するため、厚生労働大臣の指定を受けた教育訓練を受講・修了した方に対し、その費用の一部が支給される制度です。
 対象となる教育訓練は、そのレベルなどに応じて3種類があり、それぞれ給付率が異なります。

対象講座

対象の教育訓練は、約16,000講座。

具体的な講座は、**教育訓練給付制度【検索システム】**で検索できます。



オンラインで受講できる講座や、夜間・土日に受講できる講座もあり、働きながら受講することができます。

[教育訓練](#) [検索](#) [検索](#)

教育訓練の種類と給付率	対象講座の例
専門実践教育訓練 最大で受講費用の 70% 【上限56万円】 を受講者に支給	業務独占資格などの取得を目標とする講座 ・介護福祉士、看護師、准看護師、美容師、社会福祉士、歯科衛生士、保育士、調理師、精神保健福祉士、はり師 など デジタル関係の講座 ・第四次産業革命スキル習得講座（経済産業大臣認定） ・ITSSレベル3以上のIT関係資格取得講座 大学院・大学・短期大学・高等専門学校等の講座 ・専門職大学院の講座（MBA、法科大学院、教職大学院 など） ・職業実践力育成プログラム（文部科学大臣認定） など 専門学校の講座 ・職業実践専門課程（文部科学大臣認定） ・キャリア形成促進プログラム（文部科学大臣認定）
特定一般教育訓練 受講費用の 40% 【上限20万円】 を受講者に支給	業務独占資格などの取得を目標とする講座 ・介護支援専門員実務研修、介護職員初任者研修、特定行為研修、大型自動車第一種・第二種免許 など デジタル関係の講座 ・ITSSレベル2の情報通信資格の取得を目標とする講座 など
一般教育訓練 受講費用の 20% 【上限10万円】 を受講者に支給	資格の取得を目標とする講座 ・輸送・機械運転関係（大型自動車、建設機械運転等）、介護福祉士実務者養成研修、介護職員初任者研修、税理士、社会保険労務士、Webクリエイター、CAD利用技術者試験、TOEIC、簿記検定、宅地建物取引士 など 大学院などの講座 ・修士・博士の学位などの取得を目標とする講座



LL060401掲載03

文部科学大臣認定



Brush up Program
for professional



Brush up Program BP

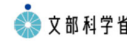
for professional

職業実践力育成プログラム



社会人の
 キャリアアップ・
 キャリアチェンジのための
 学びを応援します

[職業実践力育成プログラム](#) [検索](#)



2024年5月作成

職業実践力育成プログラム（左）と教育訓練給付制度（右）の説明資料 出典：文科省及び厚労省HP